

## アルバイトとして外国人留学生を雇う場合は？

### 外国人留学生などのアルバイト料の源泉徴収はどうしたらよいでしょうか

近年、日本で働く外国人留学生が増加し、コンビニエンスストアや飲食店などで働く外国人を目にする機会も多くなっていると思いますが、アルバイトとして雇う外国人留学生の給与に係る所得税の源泉徴収の取り扱いはどうしたらよいのでしょうか。

### 学生条項の内容次第では免税となる場合も

税務上、アルバイトとして雇う外国人留学生への給与は、原則課税となります。「居住者」※国内に住所があり、現在まで引き続いて1年以上居所がある人の場合は累進税率、「非居住者」※居住者以外の場合には20.42%で源泉徴収することになります。

ただし、租税条約がある国から来日している留学生については、租税条約の適用を受けることができます。

例えば、アルバイトで雇っている外国人留学生が、4年制大学等に通っていて、その外国人留学生が...

- ① 「居住者」に該当する場合
- ② 「日本」と「アルバイトとして雇う外国人留学生の国」との間で租税条約が締結されている場合
- ③ 租税条約などの中に、学生条項として「生計等のために受け取る所得等については、一方の締結国（日本）の租税を免除する」などという規定がある場合

上記の要件を満たす場合には、その外国人留学生への給与に係る所得税は免税となります。なお、この免税措置を受けるためには、その外国人留学生に給与が支払われる日の前日までに、事業主（給与の支払者）は所轄税務署に対し、「租税条約に関する届出書」のほか、外国人留学生の「在学する学校が発行する在学証明書等」を提出することが必要になります。

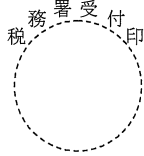
主な国	租税条約等の有無	源泉徴収の有無
中国	○	免税
韓国	○	継続5年以内 年間2万米ドル相当まで免税
タイ	○	滞在期間5年以内免税
ベトナム	○	課税(条約の規定により)
インド	○	課税(条約の規定により)
フィリピン	○	継続5年以内 年間1500米ドル相当まで免税
ブラジル	○	継続3年以内 年間1000米ドル相当まで免税
パキスタン	○	最初に教育を受け始めた日から3年以内年間150万円まで免税
ネパール	×	課税
ペルー	×	課税

※課税の場合、その給与等については、その外国人留学生が居住者か非居住者かの判定を行った上で、それぞれの区分に応じた源泉徴収を行うこととなります。

租税条約に関する届出書

(税務署整理欄)  
(For official use only)

APPLICATION FORM FOR INCOME TAX CONVENTION



教授等・留学生・事業等の修習者・交付金等の受領者の報酬・交付金等に対する所得税及び復興特別所得税の免除  
Relief from Japanese Income Tax and Special Income Tax for Reconstruction on Remunerations, Grants, etc., Received by Professors, Students, or Business Apprentices

この届出書の記載に当たっては、別紙の注意事項を参照してください。  
See separate instructions.

適用；有、無

番号 確認	身元 確認
----------	----------

税務署長殿  
To the District Director, \_\_\_\_\_ Tax Office

1 適用を受ける租税条約に関する事項；  
Applicable Income Tax Convention  
日本国と \_\_\_\_\_ との間の租税条約第 \_\_\_\_\_ 条第 \_\_\_\_\_ 項  
The Income Tax Convention between Japan and \_\_\_\_\_, Article \_\_\_\_\_, para. \_\_\_\_\_

2 報酬・交付金等の支払を受ける者に関する事項；  
Details of Recipient of Remuneration, etc.

氏名 Full name	
日本国内における住所又は居所 Domicile or residence in Japan	(電話番号 Telephone Number)
個人番号(有する場合のみ記入) Individual Number (Limited to case of a holder)	
入国前の住所 Domicile before entry into Japan	(電話番号 Telephone Number)
(年齢 Age) (国籍 Nationality) (入国年月日 Date of Entry) (在留期間 Authorized Period of Stay) (在留資格 Status of Residence)	
下記「4」の報酬・交付金等につき居住者として課税される国及び納税地(注6) Country where the recipient is taxable as resident on Remuneration, etc., mentioned in 4 below and the place where he is to pay tax (Note 6)	(納税者番号 Taxpayer Identification Number)
日本国において教育若しくは研究を行い又は在学し若しくは訓練を受ける学校、事業所等 School or place of business in Japan where the Recipient teaches, studies or is trained	名称 Name (電話番号 Telephone Number) 所在地 Address

3 報酬・交付金等の支払者に関する事項；  
Details of Payer of Remuneration, etc.

氏名又は名称 Full name	
住所(居所)又は本店(主たる事務所)の所在地 Domicile (residence) or Place of head office (main office)	(電話番号 Telephone Number)
個人番号又は法人番号(有する場合のみ記入) Individual Number or Corporate Number (Limited to case of a holder)	
日本国内にある事務所等 Office, etc. located in Japan	名称 Name (事業の内容 Details of Business) 所在地 Address (電話番号 Telephone Number)

4 上記「3」の支払者から支払を受ける報酬・交付金等で「1」の租税条約の規定の適用を受けるものに関する事項；  
Details of Remuneration, etc., received from the Payer to which the Convention mentioned in 1 above is applicable

所得の種類 Kind of Income	契約期間 Period of Contract	報酬・交付金等の支払期日 Due Date for Payment	報酬・交付金等の支払方法 Method of Payment of Remunerations, etc.	報酬・交付金等の金額及び月額・年額の区分 Amount of Remunerations, etc. (per month, year).
報酬・交付金等の支払を受ける者の資格及び提供する役務の内容 Status of Recipient of Remuneration, etc., and the Description of Services rendered				

5 上記「3」の支払者以外の者から日本国内における勤務又は人的役務の提供に関して支払を受ける報酬・給料に関する事項(注7)；  
Other Remuneration, etc., paid by Persons other than 3 above for Personal Services, etc., performed in Japan (Note 7)

--

6 その他参考となるべき事項（注8）；  
Others (Note 8)

私は、この届出書の「4」に記載した報酬・交付金等が「1」に掲げる租税条約の規定の適用を受けるものであることを、「租税条約等の実施に伴う所得税法、法人税法及び地方税法の特例等に関する法律の施行に関する省令」及び「復興特別所得税に関する省令」の規定により届け出るとともに、この届出書(及び付表)の記載事項が正確かつ完全であることを宣言します。

In accordance with the provisions of the Ministerial Ordinance for the Implementation of the Law concerning the Special Measures of the Income Tax Act, the Corporation Tax Act and the Local Tax Act for the Enforcement of Income Tax Conventions and the Ministerial Ordinance concerning Special Income Tax for Reconstruction, I hereby submit this application form under the belief that the provisions of the Income Tax Convention mentioned in 1 above is applicable to Remuneration, etc., mentioned in 4 above and also hereby declare that the statement on this form (and attachment form) is correct and complete to the best of my knowledge and belief.

Date \_\_\_\_\_ 年 月 日

報酬・交付金等の支払を受ける者の署名  
Signature of the Recipient of Remuneration, etc. \_\_\_\_\_

- 代理人に関する事項；この届出書を代理人によって提出する場合には、次の欄に記載してください。  
Details of the Agent；If this form is prepared and submitted by the Agent, fill out the following columns.

代理人の資格 Capacity of Agent in Japan	氏名 (名称) Full name	納税管理人の届出をした税務署名 Name of the Tax Office where the Tax Agent is registered
納税管理人 ※ Tax Agent その他の代理人 Other Agent	住所 (居所・所在地) Domicile (Residence or location)	(電話番号 Telephone Number)   税務署 Tax Office

※ 「納税管理人」とは、日本国の国税に関する申告、申請、請求、届出、納付等の事項を処理させるため、国税通則法の規定により選任し、かつ、日本国における納税地の所轄税務署長に届出をした代理人をいいます。

※ "Tax Agent" means a person who is appointed by the taxpayer and is registered at the District Director of Tax Office for the place where the taxpayer is to pay his tax, in order to have such agent take necessary procedures concerning the Japanese national taxes, such as filing a return, applications, claims, payment of taxes, etc., under the provisions of Act on General Rules for National Taxes.

- 適用を受ける租税条約が特典条項を有する租税条約である場合；  
If the applicable convention has article of limitation on benefits

特典条項に関する付表の添付  
Attachment Form for Limitation on Benefits Article attached

有 Yes  
 添付省略 Attachment not required  
(特典条項に関する付表を添付して提出した租税条約に関する届出書の提出日  
Date of previous submission of the application for income tax convention with the Attachment Form for Limitation on Benefits Article

年 月 日